

AI

for Chemical Sciences

プログラム

司会：山本 浩史（日本学術会議連携会員、分子科学研究所教授）

13:10 開会挨拶

渡辺 芳人（日本学術会議連携会員、分子科学研究所所長）

13:25 化学委員会報告及び趣旨説明

岡本 裕巳（日本学術会議第三部会員、分子科学研究所名誉教授）

14:00 「AI、ロボット時代の化学研究と人材育成」

一杉 太郎（日本学術会議連携会員、東京大学大学院理学系研究科教授）

14:30 「企業の開発研究におけるAI（仮）」

森田 秀和（株式会社日立製作所
公共システム事業部公共基盤ソリューション本部 本部長）

15:00 休憩

15:20 「創薬標的分子の探索AI」

難波 里子（名古屋大学高等研究院・大学院情報学研究科特任助教）

15:35 「創薬におけるAI研究とAI人材育成」

山西 芳裕（名古屋大学大学院情報学研究科教授、
愛知県がんセンター研究所異分野融合研究開発分野分野長）

16:00 「科学研究におけるAIに関する国の取り組み（仮）」

服部 正（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官、
文部科学省研究振興局参事官）

16:30 総合討論

（司会）鈴木 朋子（日本学術会議第三部会員、株式会社日立製作所
専門理事／研究開発グループ技師長）

17:10 閉会

開催日 2026 6/11 Thu.

開催方法 ハイブリッド開催

開催場所 分子科学研究所 研究棟201号室
愛知県岡崎市明大寺町西郷中38番地

本会議は、日本学術会議化学委員会・化学企画分科会、分子科学研究所、及び日本化学会戦略企画委員会の合同開催会議として毎年開催し、化学分野における様々な重要課題を取り上げて議論し提言、見解等を発出してきました。今回は、近年急速な発展を遂げているAIに関し、化学及び周辺分野にどのような効果を及ぼすか、どのように対応していくか、などの点について、広い観点から議論します。教育や研究の現場、その論文成果の取りまとめ等において、今後AIが不可欠な手段となると考えられており、化学の関連研究分野のどのような場面で、何にAIを導入して取り組むか、問題点も含めて将来を見据えた議論が必要となってきています。今回のシンポジウムでは、実際の大学等での先端研究分野、企業の研究開発分野でのAIの活用の事例、それに関連する教育・人材育成について、また行政が行なっている取り組みに関しても理解を深め議論する場を設定します。本会議は、単に化学、サイエンスに関わる議論をするものではなく、様々な立場の方々を巻き込んで、我が国の科学の振興にうねりを作ることのできる場を創ることを目指します。

主催



日本学術会議化学委員会、化学委員会化学企画分科会



大学共同利用機関法人自然科学研究機構分子科学研究所



日本化学会 公益社団法人日本化学会戦略企画委員会

申込方法 下記 URL よりお申込みください。
<https://registration.ims.ac.jp/shohei2026/registration>

締切 現地参加：6月4日（木） オンライン参加：6月8日（月）

お問合せ 山本 浩史（分子科学研究所 研究総主幹 教授） ims-shohei2026@ims.ac.jp